

国際的な視野を持つアカデミックドクター養成のための、英国インペリアル・カレッジへの
(卒前)基礎医学実習派遣プログラム

東京医科歯科大学

グローバルキャリア支援室 特任助教

若林 健二

東京医科歯科大学の教育理念

幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の養成

自己問題提起、自己問題解決型の創造的人間の養成

国際性豊かな医療人の養成



TMDU
東京医科歯科大学

Imperial College
London

インペリアル・カレッジ・ロンドン

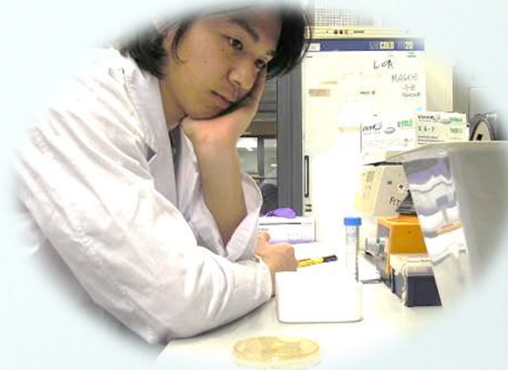
- 医学部・工学部・理学部からなる理系大学
- 世界ランキングTop 10常連の英国名門大学



Imperial College London

基礎研究実習

派遣 4学年 5名 (5ヶ月間)
2005～2014 延べ 42名



受入 4学年 5名 (3ヶ月間)
2004～2014 延べ 41名



医学科カリキュラム (2002-2010年度入学)

M 1	M 2	M 3	M 4	M 5	M 6	
教養部		基礎医学	臨床医学	プロジェクトセメスター	臨床実習	卒業試験
医学導入						

先輩からの話を聞ける機会の創出

- 1年次授業「卒業前海外留学の意義」
- 学生ボランティアの機会
- 帰国後のポスター発表

選考方法

第一次選考 (書類審査)

- 意気込みを書いたエッセイ (日本語)
- 出願時までの成績 (GPA、席次)
- 語学試験 (TOEFL-ITP又はTOEFL iBT)

第二次選考 (面接)

- 英語面接・日本語面接、各10分
- 意気込みを主に評価

プロジェクト開始まで

- Induction week
 - 論文の批判的吟味
 - 情報検索の仕方、図書館の使用法
 - 健康管理センターでの健診
 - 語学サポートや学生組織の紹介
 - Welcome party

プロジェクトについて

- 事前に20前後の候補プロジェクトリストから、自分の興味を考えて選択する。
- チームの一員となり、実際の研究プロジェクトの一部を分担する。

サポート体制

- 「自分で解決」するためのアドバイスが中心。
- 毎月報告書の提出が義務、それを基に担当者同士は連絡を取り合っている。

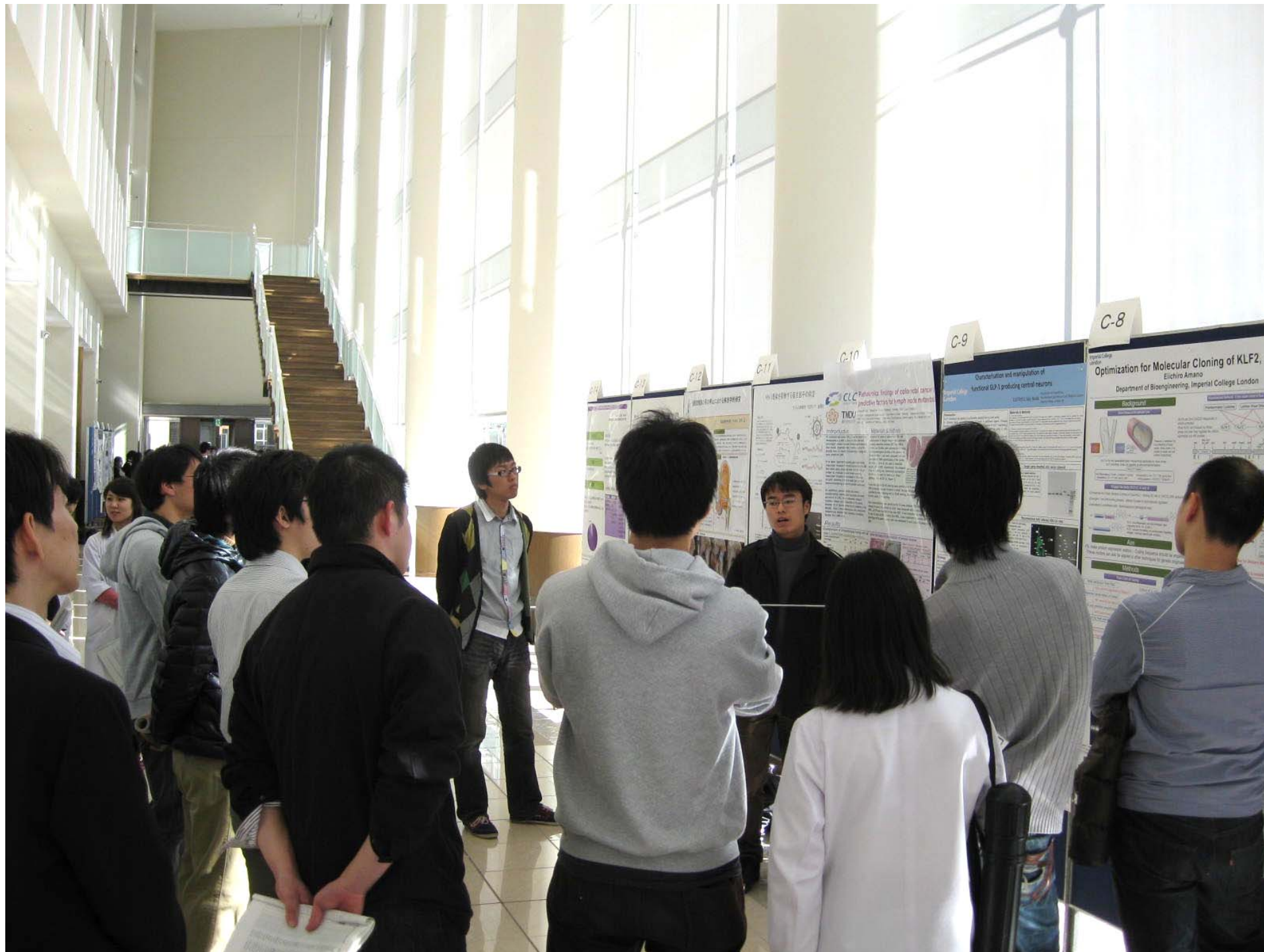
研究プロジェクト以外の活動

- 病院見学2日間
- 授業風景見学 (プレゼンテーションセッション)
- 部活に参加する学生も見受けられる

帰国に向けて

- 学生はA4 30ページ前後のレポートを提出し、インペリアル・カレッジの基準にて採点とフィードバックを受ける。
- 最も大変だが、最も勉強になる期間。
- 帰国後の発表に向けたポスターも準備。

The abstract was well structured and described. Within the introduction, the section on EAS was confused and too focussed on pituitary dependent Cushing's disease. The sections on the effects of annexin 1 were too focussed on the neuroendocrine system and more information was required describing the effects on cell growth and proliferation. The structure could have been improved, particularly with respect to the sections on SCLC which should have all been described together. The methods were well described. The results were well presented, although perhaps a little more description was required in places. With regard to the discussion, the relevance of the project was placed in context nicely, although the potential



帰国後の義務

- 各種教育活動への協力
- ボランティアへの協力
- アラムナイグループへ登録、会合への参加

成果と進路

- 海外・国内のPhDプログラムへ進んだ学生
- プロジェクトを基にした論文、ポスター発表
- 更なる長期留学への道を志している卒業生



まとめ (1) – 本プログラムの目的

- 研究からのアプローチを通じた臨床医学へのより深い洞察と理解
- 自己学習能力の涵養
- 国際的視野を持った医学研究の体験

まとめ (2) – 本プログラムの強み

- 正規課程の学生として一流大学の教員から直接指導を受けられる。
- 多くの人との交流機会を通して、自然と国際的視野を身に付けられるようになっている。
- 双方向性の留学を通して、互いの結びつきが段々と深まっていくようになっている。